

アルバックの価値創造 <価値の源泉>

研究開発

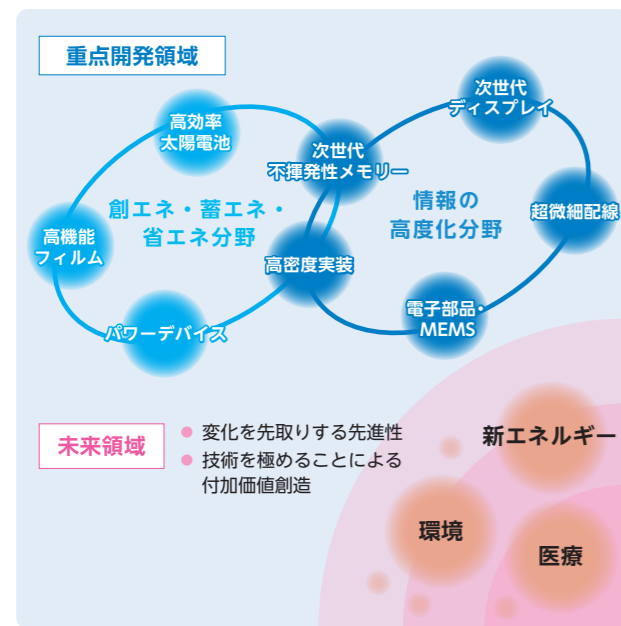
中長期的な視点で持続的に価値を創造

アルバックは、あらゆる産業分野に必要な不可欠な真空技術を核とした製品や材料を提供してきました。これからも真空技術を核に、顕在・潜在ニーズに応え得る革新的・先進的な技術開発を推進し、「付加価値」の高い製品や技術を創出することで、社会の発展に貢献していきます。

8つの重点開発領域

—豊かで安全な暮らしの実現に向けて

8つの領域について「重点開発領域」として定め開発に注力していきます。また、それぞれの領域において、マーケティング担当責任者(CPM)、設計及びコストダウン担当責任者(CDM)、技術担当責任者(CTM)が連携して開発と強化を行っていきます。

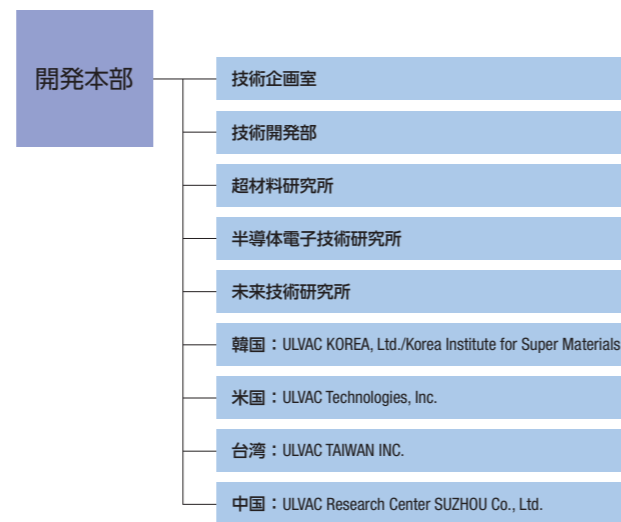


開発組織

グローバルな開発体制をとっており、グループの一体化による開発のスピードアップ、革新的な技術の融合による差別化技術の創出を目指します。

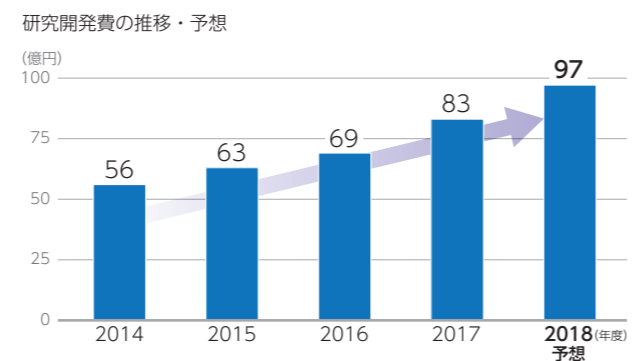
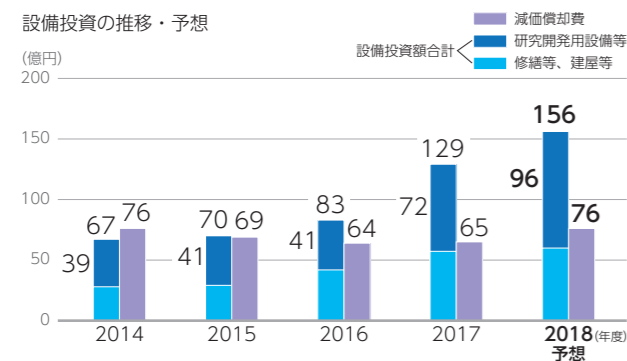
また、短中期の利益を確保するための商品開発として重要領域ごとに開発体制を敷くほか、10年、20年といった長期的なシーズの開拓のため、未来技術研究所を設置し、活動しています。

アルバックの研究開発体制(2018年7月現在)



設備投資及び研究開発費の推移・予想

研究開発投資(研究開発用設備投資+研究開発費)は継続的に増加、次世代ディスプレイやロジック・次世代不揮発性メモリなどへの取り組みに加え、将来的な成長につながる開発も積極化していきます。



グローバルネットワーク

世界の産業発展を支えるソリューションネットワーク

日本国内はもとより、欧米・アジアを中心に、50のグループ会社を通じて、地域ごとに最適な販売・サービスネットワークを構築しています。最先端技術のキーテクノロジーの一つである真空技術は、今後ますます世界中の幅広い産業・成長分野で必要とされます。

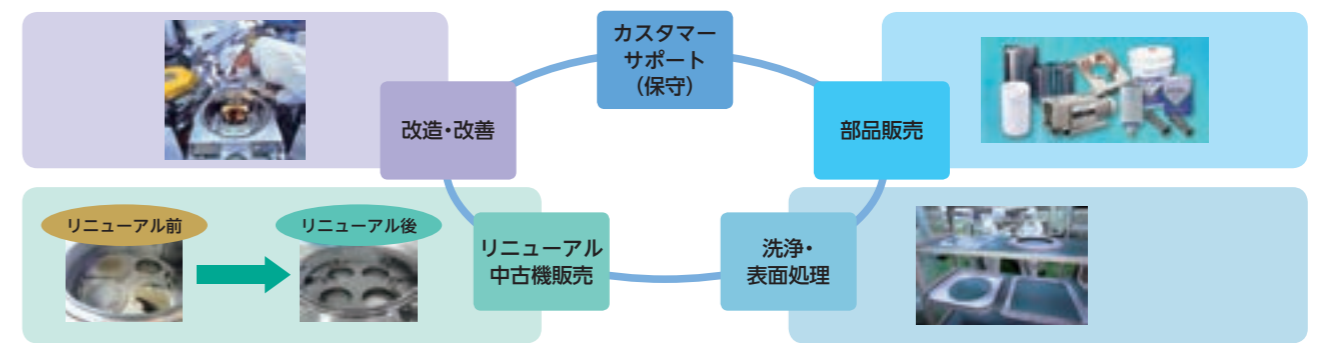


地域	従業員数(人)
日本	3,208
中国	1,757
韓国	616
台湾	551
東南アジア	151
北米	156

カスタマーサポート

グループの英知を結集したアルバックCSソリューションズ

これまで培ってきた独自の技術やサービス・ノウハウなどの英知を結集した価値あるサービスを追求します。国内外のカスタマーサポートネットワーク(14ヵ国71拠点)を通じてライフサイクルのあらゆる場面でお客様が満足される生産活動をサポートします。コンポーネントも含めた一括メンテナンスや、お客様のプロセス含めた改善・改良提案を行い、さらにはお客様のニーズを新たな装置開発にフィードバックすることで、より高度な真空技術やサービスの創出も目指します。



装置メンテナンスサービス

お客様との密接なコミュニケーションを重視した、迅速なサービスを実現します。

- グローバルCIP(Continuous Improvement Program: 継続的な改善活動)
 - すでにご使用いただいている装置を多世代にわたり有効に活用し、歩留り及び生産性向上を目的とするサービスです。
- ファクトリーアウトソーシング(FOS)
 - 装置や設備の運転及び維持管理、部品の発注、さらには装置の機種選定、プロセス開発のサポートをお客様のご要望に応じ、請負・派遣・出向により実施します。

再生・精密洗浄・資源回収

部品寿命と洗浄サイクルの延長、有価物の回収などを通じてトータルコストダウンを目指します。真空装置全体の豊富な知識をもとに、最適な表面処理と洗浄を提案します。

コンポーネントメンテナンス

- ポンプメンテナンス
 - 真空ポンプなどコンポーネントのメンテナンスを行います。
- 真空計JCSS校正サービス
 - アルバックは、「圧力(真空計)」区分のMRA/JCSS®認定校正事業者です。

※ JCSS(Japan Calibration Service System): 計量法校正事業者登録制度
 ※ 国際MRA(Mutual Recognition Agreement): 国際相互承認

部品・消耗品

自社製造パーツによる高品質・迅速・安心デリバリーを実現します。

分析サービス

アルバックグループの分析評価装置を用いた分析サービスを行います。

中古品売買

中古品の売買・改造・移設・輸出入など、部品から生産装置まで幅広く取り扱っています。

トレーニングサービス

アルバック製品(装置、真空ポンプ、コンポーネント)のトレーニングサービスを実施します。